

第89期
中間報告書

2023年4月1日▶2023年9月30日



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929 東証プライム

高機能開口部のグローバルリーダーとして 持続的な成長と企業価値の最大化を 追求してまいります



代表取締役社長 高山 靖司

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、インフレーション抑制に向けた各国の利上げ動向、円安為替影響やウクライナ情勢の長期化、中国不動産開発投資の低迷による先行き懸念など、不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2030」および「中期経営計画2024」の2年目がスタートし、気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤の確立に注力し、基本戦略を実行しました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は285,657百万円、営業利益は27,733百万円、経常利益は27,163百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,109百万円となりました。

以上を踏まえ、当期の中間配当金につきましては、期初予想どおり1株あたり29円といたしました。

なお、年間配当金につきましては2023年度決算確定時に判断することとし、期初予想の1株あたり58円を据え置いております。

今後の見通しにつきましては、直近の為替相場の動向を勘案した想定為替レートの見直しと、米州事業において想定以上に売価維持ができる見通しであること、および国内事業が堅調に推移していることにより、通期では、売上高は、期初予想より20,000百万円増額の600,000百万円、利益につきましては、営業利益は期初予想より12,500百万円増額の60,000百万円、経常利益は期初予想より12,500百万円増額の59,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想より8,200百万円増額の40,000百万円としております。

株主の皆さまにおかれましては、当社の経営方針並びに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

Genie創立100周年

米国ODCのElectronic Access Solution（開閉機）部門、「Genie」が創立100周年を迎えました。



高遮音扉「防音ガード」発売

本年4月、一般錠を採用し、JISの最高等級を上回る遮音性能を有する「防音ガード」を発売しました。



「TA40D」に電動タイプ追加

本年4月、開き戸仕様で意匠性に優れたハイパネル木質系トイレブース「TA40D」のラインナップに、非接触で開閉できる電動タイプが追加されました。



「BAU2023」に主要商品出展

本年4月、Novofermは、ドイツのミュンヘンで開催された建築・建材システム見本市「BAU2023」に、多数の新商品を含む主要商品を出品しました。



窓付特定防火設備タイプ追加

本年4月、多彩な表面材・窓のバリエーションで幅広い用途に対応可能な鋼製軽量ドア、「窓付特定防火設備タイプ」を発売しました。



「耐風ガードLS」発売

本年5月、近年大型化している台風であっても、シャッターカーテンがガイドレールから外れにくい、「耐風形軽量シャッター「耐風ガードLS」」を発売しました。



三和NF常熟、工場の開業式を開催

本年6月、三和NF常熟では、在上海日本国総領事大使や常熟市来賓、主要顧客などをお招きし、江蘇省に新設した常熟工場（ドア製造）の開業式を開催しました。

(写真はテープカット)



九州工場、太陽光パネル設置

本年7月、九州工場に設置した太陽光パネルが稼働を開始しました。同工場で使用する電力の約40%を賄う予定で、年間約460トンのCO₂排出量の削減を見込んでいます。



Re-carboシリーズ「断熱クイックセーバーTR」発売

本年9月、独自の気密断熱構造をもつシートにより工場、倉庫などの空調効率を最適化できるRe-carboシリーズ「断熱クイックセーバーTR」を発売しました。



「統合報告書2023」を発行

本年9月、「統合報告書2023」を発行しました。当社グループの歴史や強み・戦略・サステナビリティへの取り組みなどについてわかりやすく紹介しています。



各内容の詳細情報につきましては当社ホームページのニュースリリースに掲載しております。右記URLまたはQRコードよりアクセスできますので、併せてご参照ください。

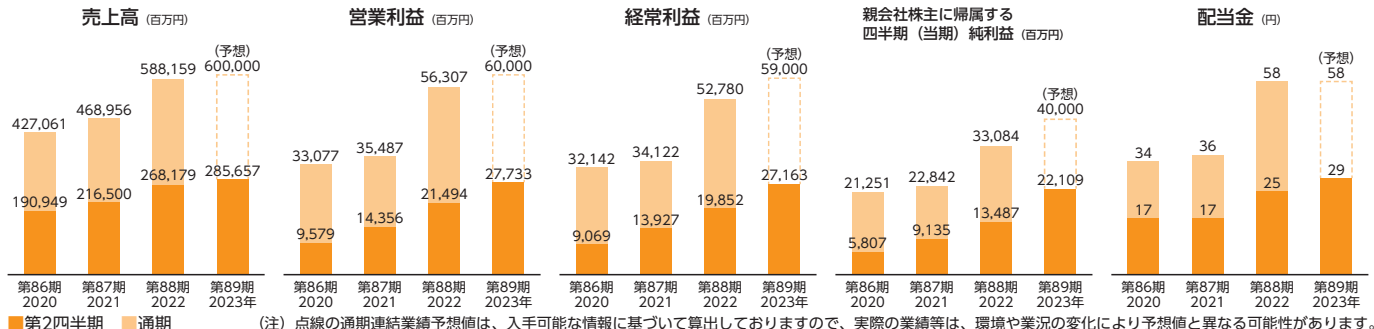
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

URL : <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/news/>



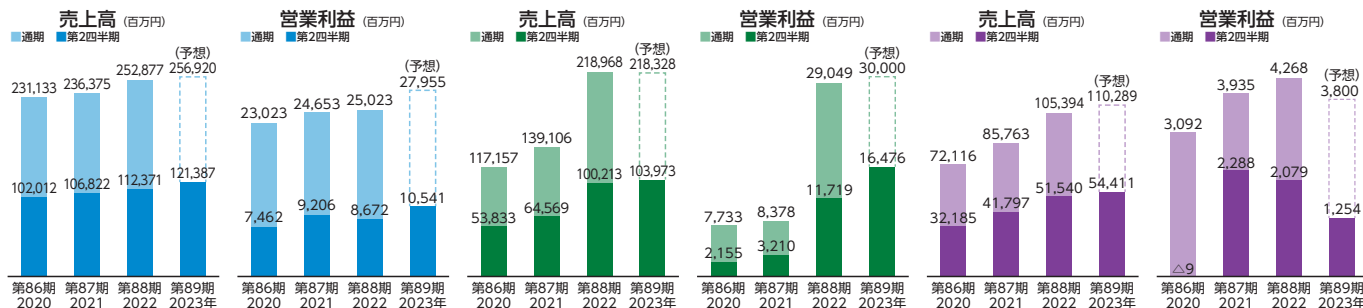
財務ハイライト（連結）

当第2四半期連結累計期間における実績は、中期経営計画2024の各戦略を引き続き実施したことにより、売上高は、前年同四半期比6.5%増の285,657百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比29.0%増の27,733百万円、経常利益は、前年同四半期比36.8%増の27,163百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比63.9%増の22,109百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間は売上、利益ともに過去最高を更新いたしました。

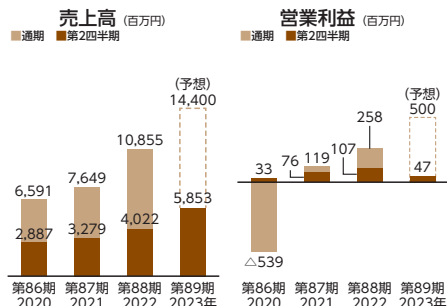


地域別営業の状況（第2四半期累計期間）

地域	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
日本	121,387	10,541
北米	103,973	16,476
欧州	54,411	1,254



地域	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
アジア	5,853	47



(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。
2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業績の変化により予想値と異なる可能性があります。

国内では、好調な工場建設や大型再開発案件を中心に需要は堅調であり、メンテ・サービスも順調に推移し増収となりました。利益面では数量増と売価転嫁により大幅な増益となりました。

北米では当初想定以上に住宅・非住宅ともに市場環境は厳しかったものの、売価浸透や為替の影響で増収となりました。利益面でも生産性改善等により大幅な増益となりました。欧州でも同様に市場環境は厳しかったものの、為替の影響等により増収となりました。一方、利益面では売価転嫁やコスト削減に取り組んだものの、数量減を補いきれず大幅減益となりました。アジアは新規連結効果で増収となりましたがコスト先行などにより減益となりました。

四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2023年3月31日)	当第2四半期末 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産	285,416	310,839
現金及び預金	63,653	74,521
受取手形、売掛金及び契約資産	113,909	114,612
電子記録債権	14,324	14,311
有価証券	8,600	14,000
棚卸資産	80,423	88,737
その他	8,567	8,843
貸倒引当金	△ 4,061	△ 4,187
固定資産	156,857	167,341
(有形固定資産)	(83,364)	(92,482)
建物	25,100	27,676
土地	20,900	21,356
その他	37,363	43,449
(無形固定資産)	(27,084)	(28,931)
のれん	7,601	7,982
その他	19,483	20,949
(投資その他の資産)	(46,408)	(45,927)
投資有価証券	32,054	31,048
退職給付に係る資産	7,262	7,475
その他	7,674	8,172
貸倒引当金	△ 582	△ 768
資産合計	442,274	478,180

※当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額131,396百万円

四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	当第2四半期累計 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
売上高	268,179	285,657
売上原価	187,651	194,446
売上総利益	80,527	91,211
販売費及び一般管理費	59,032	63,478
営業利益	21,494	27,733
営業外収益	551	1,125
営業外費用	2,194	1,694
経常利益	19,852	27,163
特別利益	26	4,408
特別損失	31	219
税金等調整前四半期純利益	19,847	31,352
法人税等	6,306	9,133
四半期純利益	13,541	22,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	110
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,487	22,109

負債の部

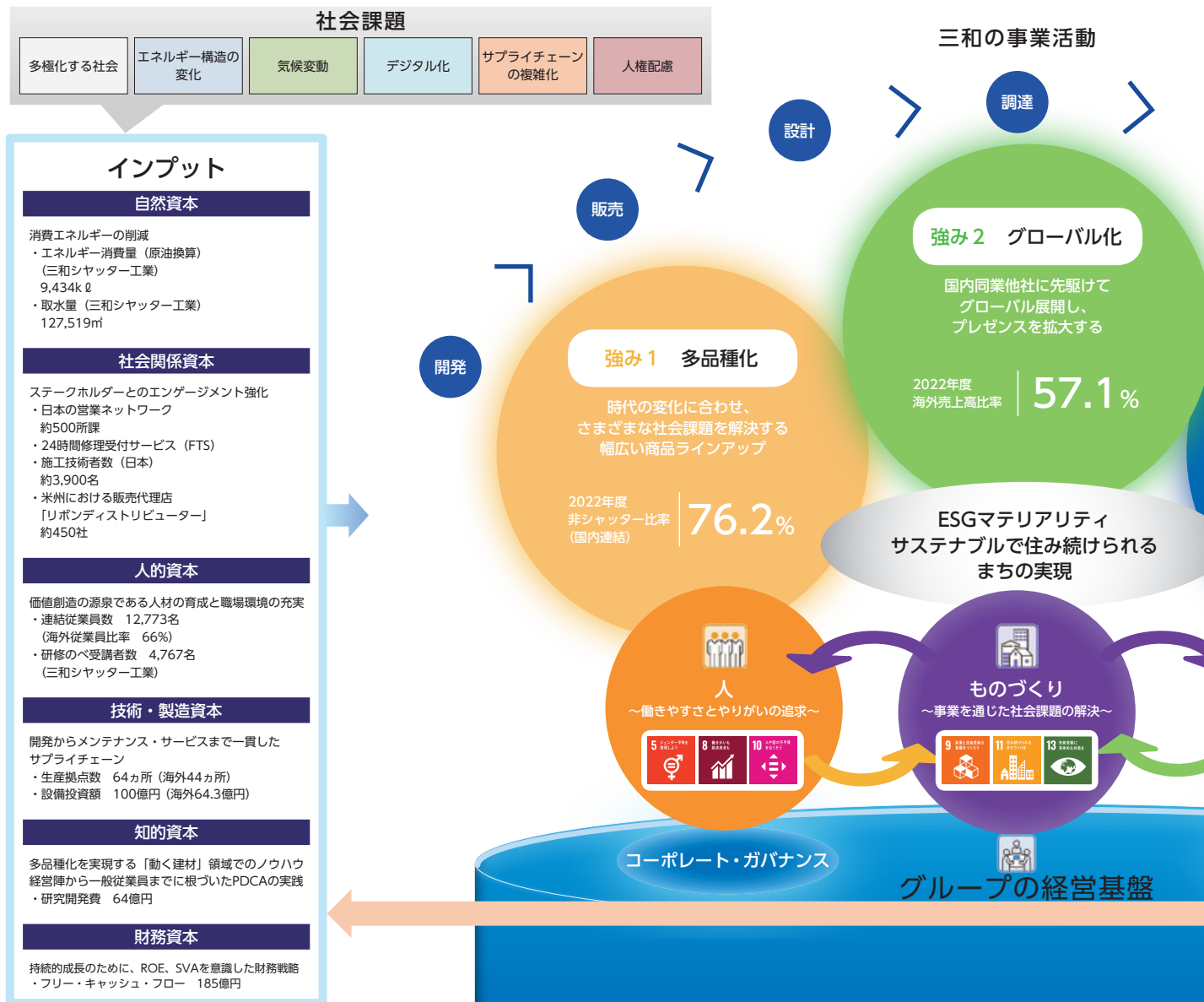
科 目	前期末 (2023年3月31日)	当第2四半期末 (2023年9月30日)
流動負債	144,508	137,563
支払手形及び買掛金	66,962	65,901
短期借入金	9,895	9,331
1年内返済予定の長期借入金	8,541	841
その他	59,109	61,488
固定負債	55,414	66,411
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,816	18,117
退職給付に係る負債	10,976	11,273
その他	13,622	17,020
負債合計	199,923	203,974
純資産の部		
株主資本	212,742	227,681
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,737	39,750
利益剰余金	144,460	159,319
自己株式	△ 9,869	△ 9,800
その他の包括利益累計額	27,914	44,562
その他有価証券評価差額金	2,106	3,871
繰延ヘッジ損益	327	224
為替換算調整勘定	25,895	40,694
退職給付に係る調整累計額	△ 414	△ 227
新株予約権	255	255
非支配株主持分	1,437	1,706
純資産合計	242,350	274,206
負債純資産合計	442,274	478,180

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	当第2四半期累計 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,418	31,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,671	△ 9,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,816	△ 10,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,816	2,224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 4,252	13,831
現金及び現金同等物の期首残高	61,397	71,153
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	333
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,144	85,317

当社グループは、気候変動やジェンダーにおける平等、働き方改革などグローバルな社会課題を解決し、世界中の街や暮らしに「安全、安心、快適」を提供することにより社会に貢献します。そのために、経営資源を最大限に活かし創業以来培ってきた強みを深化させることで、持続的な成長とサステナブルな価値創造に取り組んでいきます。



三和グループの使命

安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します

ステークホルダー

三和グループの事業活動を支える多くのステークホルダーとともに
社会課題を解決することで、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

お客さま

従業員

施工技術者

お取引先

地域社会

株主・投資家

製造

施工

強み3 サービス

メンテナンス・サービスまでの
一貫したお客さまサポート

2022年度
サービス事業
売上高比率

12.6%



環境

～持続可能な地球環境の実現～



コンプライアンス

メンテナンス・
サービス

To be a Global
Leader of Smart
Entrance Solutions

～高性能開口部の
グローバルリーダーへ～

三和
グローバル
ビジョン
2030

中期経営計画
2024

アウトプット

	2022年度		
売上高	5,882億円		 シャッター 日本1位 米州1位
営業利益	563億円		
営業利益率	9.6%		 カレージドア 日本1位 米州2位 欧州2位
SVA	269億円		
ROE	15.0%		
海外売上高/比率	3,356億円	57.1%	
サービス事業売上高/ 比率	742億円	12.6%	 産業用 セクショナルドア 日本1位 米州1位 欧州2位
気候変動対応商品の 売上高/比率	1,035億円	17.6%	
防災商品の売上高/ 比率	675億円	11.5%	
CO ₂ 排出量	26,936 t-CO ₂ (日本)		 スチールドア 日本1位 欧州2位
	52,080 t-CO ₂ (海外)		

各内容の詳細情報につきましては当社ホームページに統合報告書を掲載しております。
右記URLまたはQRコードよりアクセスできますので、併せてご参照ください。
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

URL : <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/annual.html>



会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数(連結) 12,999名 (注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03)3346-3019 (代表)

主なグループ会社

日本

三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
株式会社鈴木シャッター
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
三和システムウォール株式会社
昭和建産株式会社
田島メタルワーク株式会社
三和電装エンジニアリング株式会社
林工業株式会社

アジア

中国	上海宝産三和門業有限公司 三和喜雅达(上海)投資有限公司
台湾	安和金属工業股份有限公司
香港	三和シャッター(香港)有限公司 鈴木鐵剛(香港)有限公司
ベトナム	VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD.

北米

米国	Sanwa USA inc. OVERHEAD DOOR CORPORATION
----	---

欧州

ドイツ	Novoferm Germany GmbH Novoferm GmbH Novoferm Vertriebs GmbH
フランス	Novoferm France S. A. S.
オランダ	Novoferm Nederland B. V. Alpha Deuren International B. V.
イギリス	Novoferm UK Holdings Limited

- ホームページアドレス <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

役員

代表取締役社長	高山 靖司
取締役相談役	高山 俊隆
取締役常務執行役員	山崎 弘之
取締役常務執行役員	道場 敏明
取締役	高山 盟司
取締役	横田 正伸
取締役	石村 弘子
監査等委員である取締役(常勤)	在間 貞行
監査等委員である取締役(常勤)	米澤 常克
監査等委員である取締役	五木田 彬

経営企画部門担当
グローバル事業部門担当

- (注) 1. 横田正伸氏、石村弘子氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、横田正伸氏、石村弘子氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 231,000,000株
- 株主数 13,895名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,653	14.31
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	16,336	7.38
株式会社三井住友銀行	11,037	4.99
第一生命保険株式会社	8,100	3.66
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	6,456	2.92
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,140	2.32
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	4,802	2.17
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,877	1.75
住友不動産株式会社	3,810	1.72
日本生命保険相互会社	3,348	1.51

- (注) 1. 当社は自己株式9,914,818株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 毎年6月
- 定時株主総会
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日 100株
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929 東証プライム)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インクを使用しています。